

4/4
日曜

道徳で教育勅語容認

菅氏会見 野党の批判は確実

菅義偉官房長官は三日の記者会見で、戦前教育の基本理念を示した教育勅語について、現在の道徳教育で教材として使うことを「否定できない」と述べた。教育勅語の教材活用を否定し

ないとした政府答弁書より踏み込み、道徳教育での使用を容認した。安倍政権の中核を担う菅氏が勅語の意義を認めたことで、野党が批判を強めるのは確実だ。

菅氏は記者会見で、道徳

教育で使うことに問題はないかと問われ、「教育勅語にそうしたこと（道徳を説いた側面）があり、そこは否定できない」と説明。さ

うに「教育の唯一の根本とする指導は極めて不適切だ

が、『親を大切に』など普

遍的なことまで否定すべきではない」と語った。

松野博一文部科学相は衆院決算行政監視委員会で「歴史の理解を深める観点で用いることには問題がない」と述べることで認められた。

教育勅語は、明治天皇が

「臣民」に求める德目を並べ、国や天皇に命をささげるよう求める軍国主義教育に結びついたとされる。戦後は「國民主權に反する」

として衆参両院が排除・失

教育勅語を巡る国会決議や政府見解

| | |
|----------------------|---|
| 1948年 衆院の排除決議 | 根本理念が主権在君並びに神話的国体觀に基づいている。基本的人権を損ない、国際信義に疑点を残す |
| 参院の失効決議 | わが国家及びわが民族を中心とする教育の誤りを徹底的に払拭し(略)効力を失っている事実を明確にする |
| 81年 三角哲生 文部省初等中等教育局長 | 教育勅語そのものを学校で教えることは適当でない |
| 2014年 下村博文 文科相 | 主権在民の觀点から文言は適切でない。そのものではなく、中身に着目し学校で教材として使うことは差し支えない |
| 17年 閣議決定 | 教育の唯一の根本とするような指導は不適切。憲法や教育基本法に反しない形で教材として用いることは否定されない |

*14年、17年は第2次安倍政権。肩書きは当時

効を決議している。当時の森戸辰男文部相は「過去の文献として扱い、かりそめにも神格化することのないように」と強調していた。

一方、保守層には教育勅語の道徳觀を肯定する意見がある。大阪市の学校法人「森友学園」が系列幼稚園で園児に唱導させたことに絡み、稻田朋美防衛相は国

会で「核の部分は取り戻すべきだ」と発言。政府は先月末、憲法や教育基本法等に反しないような形での教材活用を否定しないとする答弁書を閣議決定して

た。

元文科官僚の寺脇研・京

都造形芸術大教授は「内容

がいいなら、教育勅語を持ち出さずに教えればいい。

紹介は憲法に反する」と指摘。同時に「閣議決定は憲

法などに反しない形でと前

提を置いており、歴史教育

でしか使えない」と話し